

県西地域で茨城うまいもどころ味クラブが合同産地研修会を実施

6月14日(水)、茨城うまいもどころ味クラブ(会長：(株)ベジフルフード 吉田専務取締役)他3団体※による合同産地研修会がJA北つくばで開催されました。

参加者は、首都圏の卸、仲卸等64名で、JA北つくば東部営農経済センターを訪れ、藤田常務、古橋部長を始め多くの職員の方々に迎えて頂き、管内のこだますいかの生産状況や、JA北つくばのブランド品種「紅の誘惑」の生産・販売の取組について説明を受け、出荷最盛期であるこだますいか「スイートキッズ」の試食も行いました。また、圃場見学では、黒こだますいか圃場(7月収穫開始予定)を見学しながら、栽培管理や、交配時期から着果期における管理に係る注意点、黒こだますいかの生理生態について詳細な説明を受けました。



黒こだますいか圃場の見学



東部営農経済センターで「スイートキッズ」の試食



野菜集出荷場で結城のとうもろこしについての研修



とうもろこし圃場見学

次に、JA北つくば西部営農経済センターの野菜集出荷場を訪れ、結城園芸部会とうもろこし部会の取組や、真空予冷施設、結城園芸部会青年部共同管理のとうもろこし圃場の見学を行いました。参加者は、産地関係者の説明をメモに取り、収穫前の黒こだますいかの生育を観察する等、熱心に研修に臨んでおりました。参加者の中には、産地を訪れたことのない若手市場関係者が多く、「こだますいかは着果までの生育過程の管理が重要ということがわかり、農家の方の苦労を感じた」「市場や消費者の要望に応え、とうもろこし「味来」の生産を続ける産地の姿勢に、プライドや熱意が感じられた。」との声が多く寄せられました。参加者の大半を占める若手の市場関係者に対し、味クラブ吉田会長は、「多くの若手市場関係者が産地を直接訪問する機会を提供でき、有意義な研修となった。担当する品目が異なっても、産地を訪問した事は、今後長期的に業務を続けていく中で必ず役に立つ。」と挨拶し、今後の市場流通を担う若手社員の成長に期待を寄せられました。

※茨城野菜研究会(会長：東京青果(株) 村野伸一郎事業部長)

茨城果実研究会(会長：東京多摩青果(株) 永石覚生執行役員)

東京中央卸売市場茨城県人会(会長：東京多摩青果(株) 柏 武彦代表取締役社長)